

## 地方独立行政法人大阪市民病院機構 令和3年度決算概要

### I 令和3年度決算のトピックス

地方独立行政法人として設立8年目となる令和3年度は、令和2年度に引き続き、総合医療センター、十三市民病院ともに、公的医療機関かつ新型コロナウイルス感染症重点医療機関として患者の受け入れに取り組み、大阪市の同感染症対応の中核的な役割を担ってきた。

総合医療センターでは複数病棟の休止や手術の制限等を行いつつも、感染状況に柔軟に対応しながら、可能な限り3次救急や高度な手術・治療などの通常医療との両立を図ることで、高度専門医療機関としての役割も同時に果たしてきた。十三市民病院では専門病院としての役割を継続して担うとともに、12月には産科外来を再開するなど、地域の医療ニーズに応えてきた。

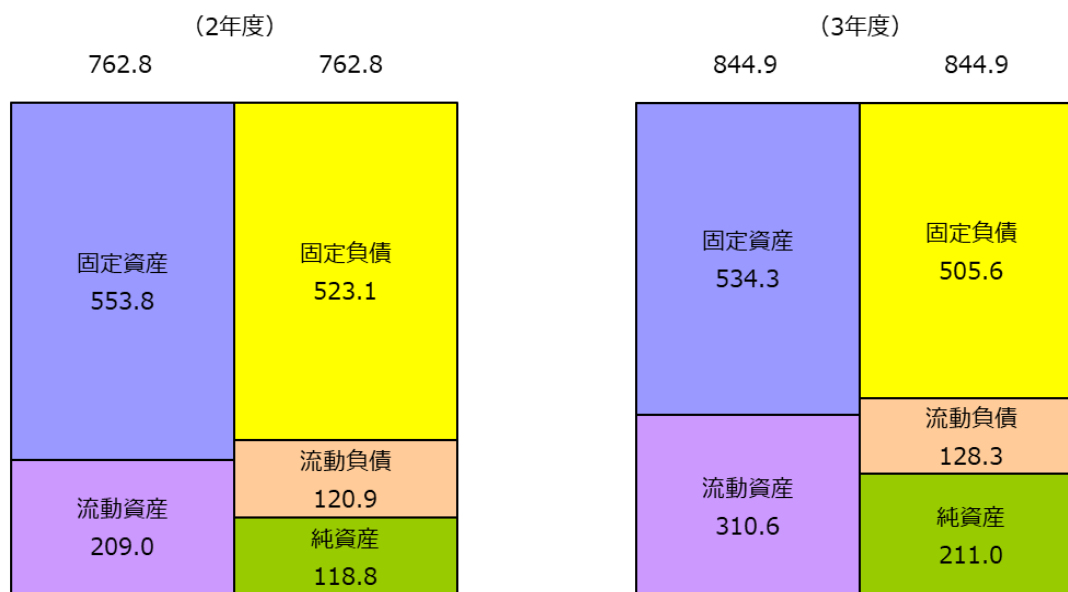
この結果、医業損益は、新型コロナウイルス感染症にかかる診療報酬の特例措置の通年化等による診療単価の増などにより、令和2年度より改善した。純利益は、医業損益の改善及び補助金収入等により、令和2年度より増加した。

しかしながら、今後の新型コロナウイルス感染症の動向や、関連する補助金の次年度以降の見通しは不透明であり、厳しい経営状況が続くことが予想される。引き続き新型コロナウイルス感染症への対応と並行して、市民病院に求められる政策医療をはじめとする医療の提供を継続し、公的医療機関としての役割を果たしていきたい。

### II 財政状況（貸借対照表より）

- ① 資産合計は844.9億円（前年度比+82.1億円）  
⇒ うち土地、建物、機械備品等の固定資産は534.3億円（前年度比▲19.5億円）
- ② 負債合計は633.9億円（前年度比▲10.1億円）  
⇒ うち大阪市からの長期借入金残高は218.4億円（前年度比+25.0億円）

#### ●貸借対照表の推移



#### ●長期借入金残高推移

	(億円)		
	2年度	3年度	増減
長期借入金	193.4	218.4	25.0
移行前分	186.1	150.2	▲35.9

#### ●純資産内訳

	(億円)		
	2年度	3年度	増減
資本金	1.0	1.0	0.0
資本剰余金	0.0	3.3	3.3
利益剰余金	117.8	206.7	88.9
計	118.8	211.0	92.2

### Ⅲ 経営成績（損益計算書より）

- ① 本業の売上高を示す「医業収益」は409.7億円（前年度比+23.1億円）
- ② 本業の利益を示す「営業損益」は112.8億円（前年度比+6.2億円）
- ③ 営業損益に利息の支払い等を含めた「経常損益」は93.1億円（前年度比+7.0億円）
- ④ 最終的な利益を示す「当期総損益」は92.2億円（前年度比+6.7億円）

#### ● 主な項目の推移

	2年度	3年度	増減
医業収益	386.6	409.7	23.1
運営費負担金収益	72.8	73.3	0.5
補助金等収益	101.5	101.2	▲ 0.3
<b>営業収益</b>	<b>566.4</b>	<b>590.2</b>	<b>23.8</b>
給与費	224.8	226.7	1.9
材料費	115.5	127.9	12.4
減価償却費	46.1	47.8	1.7
経費	69.0	71.3	2.3
医業費用	458.3	476.0	17.7
<b>営業費用</b>	<b>459.8</b>	<b>477.4</b>	<b>17.6</b>
<b>営業損益</b>	<b>106.6</b>	<b>112.8</b>	<b>6.2</b>
営業外収益	9.0	11.0	2.0
財務費用	5.4	4.4	▲ 1.0
控除対象外消費税等	24.1	26.3	2.2
営業外費用	29.5	30.7	1.2
<b>経常損益</b>	<b>86.1</b>	<b>93.1</b>	<b>7.0</b>
臨時利益	0.1	0.0	▲ 0.1
臨時損失	0.6	0.9	0.3
<b>当期総損益</b>	<b>85.5</b>	<b>92.2</b>	<b>6.7</b>

#### 【収益面】

##### 医業収益

・新型コロナ患者の受入による診療単価及び患者数の増、高額薬剤の需要の増加による診療単価の増が影響し、収益が増加

##### 補助金等収益

・新型コロナ感染症関連補助金が2年度と同程度交付（うち病床確保補助金90.9億円）

#### 【費用面】

##### 給与費（医業費用）

・欠員補充等による医療職の人員増、新型コロナへの対応に係る特動手当の支給により増加

##### 材料費（医業費用）

・小児がん用抗がん剤等の高額薬剤の需要増により増加

##### 経費（医業費用）

・病院情報システム等の保守料、労働者派遣等の委託料の増加

### Ⅳ キャッシュフロー

(億円)

	期首残高	業務活動	投資活動	財務活動	期末残高	資金増加(▲減少)
2年度	55.1	111.2	▲ 71.2	▲ 2.9	92.2	37.1
3年度	92.2	135.5	▲ 22.8	▲ 10.8	194.1	101.9

### Ⅴ 主要指標

	総合医療センター			十三市民病院			住之江診療所		
	2年度	3年度	差引	2年度	3年度	差引	2年度	3年度	差引
入院患者数	264,262人	264,619人	357人	19,339人	21,609人	2,270人	-	-	-
(1日平均)	724人	725人	1人	53人	59人	6人	-	-	-
(病床稼働率)	83.3%	83.1%	▲ 0.2%	41.6%	43.1%	1.5%	-	-	-
入院診療単価	97,143円	101,950円	4,807円	62,452円	76,126円	13,674円	-	-	-
外来患者	426,222人	439,029人	12,807人	48,512人	58,186人	9,674人	3,464人	3,684人	220人
(1日平均)	1,754人	1,814人	60人	264人	240人	▲ 24人	14人	15人	1人
外来診療単価	24,799円	25,105円	306円	10,055円	11,824円	1,769円	8,661円	8,686円	25円
医業収支比率	87.5%	88.5%	1.0%	31.4%	39.8%	8.4%	26.2%	31.4%	5.2%
経常収支比率	99.9%	102.0%	2.1%	124.3%	117.6%	▲ 6.7%	30.7%	35.3%	4.6%
給与費比率	52.3%	50.2%	▲ 2.1%	186.2%	140.5%	▲ 45.7%	183.3%	137.5%	▲ 45.8%
材料費比率	30.5%	31.9%	1.4%	16.8%	21.0%	4.2%	24.1%	18.8%	▲ 5.3%
経費比率	15.2%	15.0%	▲ 0.2%	74.1%	58.5%	▲ 15.6%	140.2%	131.3%	▲ 8.9%